

20年後までのスペースミッションを考える ワーキンググループ活動報告

- 2030年代のスペース将来計画を検討するワーキンググループとして、2017/07の光赤外天連シンポで議論され、2017/09の総会での承認の後に発足。
- 2017/09 末から 2017/12 頃を活動期間として以下のメンバーで検討を進める。
 - 秋山 正幸 (東北大) : 座長
 - 岩田 生 (国立天文台)
 - 左近 樹 (東京大)
 - 津村 耕司 (東北大)
 - 松尾 太郎 (大阪大)
 - 松田 有一 (国立天文台)
- 9/27 (f2f), 10/6, 10/31, 11/17, 12/8 の会合を経て12/15に「2030年代の光赤外分野のスペースミッション」ワークショップを開催。光赤外分野と関連する将来計画案について情報を収集した。メールでの取りまとめの後1/5 に会合を行った。
- ワーキンググループとして、検討結果を宇宙科学シンポ 2018/1/9,10においてポスター発表を行う。
- シンポでの議論なども踏まえ、2/2 に会合を持ち、報告書の最終取りまとめを行った。最終版を 2/6 に運営委員会に提出した。2/26,3/2 の運営委員会で報告を行い、活動は基本的に終了。
- 2018年度の光赤天連シンポでの議論につなげる。